

第2学年〇組 生活科学学習指導案

1 単元 はるの 町 大すき

2 活動計画 (11時間完了)

(1) 春の町に出かけよう

- ┌ 学校のそとをさんぽしよう……………1時間
- ├ たんけんのじゅんびをしよう……………1時間
- └ 町の春をみつけよう……………2時間

(2) 春の公園や野原に行こう

春のしぜんであそぼう……………3時間

(3) 見付けたことを発表しよう

- ┌ たんけんのまとめをしよう……………2時間
- ├ 見付けたことをはっぴょうしよう…1時間 (本時)
- └ 絵らずにまとめよう……………1時間

3 本時の指導

(1) 目標

- 春の町に出掛けて見付けたものや気付いたことを分かりやすく伝えることができる。

【発表内容】 (思考・表現)

(2) 情報活用能力の育成について

- **デジタルカメラの画像やICレコーダーなどを効果的に使いながら、気付いたことや見付けたものを分かりやすく伝えることができる。** (情報活用の実践力)

(3) 準備

デジタルカメラ プロジェクタ 実物投影機 ICレコーダー 探検で見付けたもの 学習カード

(4) 指導過程(太字斜体…情報活用能力の育成に関わる部分)

| 時間配分 | 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 | 評価の観点と方法 |
|------|--|--|---|
| 3分 | 1 春の町へ出掛け、探検したり遊んだりして楽しかったことを想起し、発表する。 | ○ 場所、もの、人など、いろいろな出会いがあったことを想起させ、発表させる。 | ○ 学区探検について想起しているか、発表の様子からつかむ |
| 25分 | 2 グループごとに春の町で見付けたもの、気付いたことを発表する。 ・スーパーマーケット ・商店街 ・公園や野原 ・駅 など | ○ 発表に合わせてデジタルカメラの画像を提示したり、ICレコーダーのインタビューを流したりしながら発表させる。 ★ メディアを効果的に活用できていないグループには、教師が機器の操作を手伝うなどして発表を支援する。 | ○ デジタルカメラの画像やICレコーダーなどを効果的に使いながら、気付いたことや見付けたものを分かりやすく伝えることができたか、発表内容からつかむ。 ○ メディアを効果的に活用して分かりやすく発表できているか、発表の様子からつかむ。 |
| 15分 | 3 発表を聞いて話し合う。 | ○ 互いの発表を聞いて気付いたことや分かったことについて話し合い、学習カードにまとめるようにさせる。 | ○ 気付いたことや分かったことをまとめられているか、児童の様子やカードの記述からつかむ。 |
| 2分 | 4 次時の予告をする。 | ○ 本時に発表したことを絵地図にまとめることを知らせる。 | |